

V. 技術者養成

1. 技術人材養成事業

1-1 技術研修事業

〔目的〕 新製品の開発や生産技術の向上を図るため、企業の技術者や後継者を受け入れて研修する。

研修内容	研修期間	業種等	担当者
モデリングマシンによる石膏型の切削加工技術	令和4年 4月12日～10月11日	陶磁器関連製造業	依田 慎二
陶磁器製造技術(石膏型)	令和4年 5月10日～8月10日	陶磁器製造業	久田松 学 山口 英次 岩永 省吾 小林 孝幸
釉薬原料の性質と調合式、釉調合の実際と証明	令和4年 5月 2日～7月29日	個人	吉田 英樹
亜鉛釉の調合技術と釉薬研修	令和4年11月 9日～令和5年 2月 8日		
走査型電子顕微鏡ならびに走査型電子顕微鏡用エネルギー分散型X線分析装置の操作方法	令和4年 6月21日	素材関連製造業	高松 宏行
熱分析装置(TG-DTA)の操作研修	令和4年 8月23日	窯業・土石製品製造業	秋月 俊彦
蛍光X線分析装置、元素分析計、熱分析装置の技術研修	令和4年 8月17日	高等学校	秋月 俊彦 高松 宏行 木須 一正 増元 秀子
遠赤外線放射率の技術研修	令和4年 9月 5日	素材関連製造業	浦郷 寛康
機械ロクロによる成形技術	令和4年 9月12日～ 9月16日	陶磁器製品製造業	岩永 省吾 小林 孝幸
走査型電子顕微鏡ならびに走査型電子顕微鏡用エネルギー分散型X線分析装置の操作方法	令和4年10月 6日	素材関連製造業	高松 宏行
釉薬の調合技術	令和4年10月24日～令和5年3月31日	陶磁器製造業	吉田 英樹
走査型電子顕微鏡ならびに走査型電子顕微鏡用エネルギー分散型X線分析装置の操作方法	令和4年11月 9日	素材関連製造業	高松 宏行
3D技術を利用した陶磁器石膏型の製作	令和4年11月 1日～令和5年 1月31日	石膏型協同組合	依田 慎二
走査型電子顕微鏡の操作方法	令和4年11月18日	素材関連製造業	高松 宏行
3Dプリンターを活用した製品・製造加工技術	令和4年11月28日～11月30日	高等学校	依田 慎二
3D技術を利用した陶磁器製造技術	令和4年12月14日～令和5年 3月 1日	陶磁器製造業	依田 慎二
赤外分光光度計の操作方法	令和5年 3月22日	素材関連製造業	高松 宏行
3D技術を利用した陶磁器製造技術	令和5年 3月16日～3月31日	陶磁器製造業	依田 慎二

1-2 セミナー事業

〔目的〕 技術情報、デザイン情報の迅速な提供及び技術革新に対応できる意識改革を図るためセミナー等を実施する。

(1)

テ ー マ	「商品」⇔「企業」⇔「地域」それぞれのブランドの関係性と、今後のデザインにおけるブランディングの在り方等について。		
期 日	第1回：令和4年12月 2日 第2回：令和5年 1月19日 第3回：令和5年 3月30日		
タイトル	第1回：キーワードは“遊び” 第2回：モノをつくるというコト 第3回：サステイナブルなブランディング		
概 要	<p>県内事業者の「商品」⇔「企業」⇔「地域」それぞれのブランドの関係性と、今後のデザインにおけるブランディングの在り方等について専門家を招聘してデザインセミナーを開催した。</p> <p>第1回は、東京藝術大学の長濱雅彦教授を講師に招き「キーワードは“遊び”」と題して、次世代のデザインの在り方等についてセミナーを開催した。</p> <p>第2回は、講師に graf 代表の服部滋樹氏を講師に招き「モノをつくるというコト」と題して、時代ごとのデザインの役割とデザインにおけるブランディングの重要性等についてセミナーを開催した。</p> <p>第3回は、同じく講師に graf 代表の服部滋樹氏を招き「サステイナブルなブランディング」と題して、持続可能性に焦点を当てたこれからのブランディングの在り方について、参加者をグループに分け、新たなマーケットを考えるワークショップを開催した。</p>		
講 師	第1回：長濱 雅彦 氏（東京藝術大学 教授） 第2回：服部 滋樹 氏（graf 代表） 第3回：服部 滋樹 氏（graf 代表）		
受講者数	第1回：59名 第2回：46名 第3回：32名	担当者	戦略・デザイン科 桐山 有司、久田松 学、石原 靖世、依田 慎二

(2)

テ ー マ	カーボンニュートラルおよび SDGs 達成に向けたカーボンプライシングへの期待		
期 日	令和4年12月14日		
概 要	持続可能な社会を目指すため、カーボンニュートラル達成に向けたカーボンプライシングの必要性や、SDGs、カーボンニュートラル、カーボンプライシングが、今後ビジネスに与える影響についての講演。		
講 師	小嶋 公史 氏（公益財団法人 地球環境戦略研究機関プログラムディレクター / 副所長）		
受講者数	52名（オンライン）	担当者	環境・機能材料科 秋月 俊彦、高松 宏行

1-3 陶磁器勉強会

〔目的〕 窯業人材の育成と技術力向上を図るため、陶磁器関連企業の後継者や製造現場の技術担当者、商品開発担当者を対象に、陶磁器全般に関する基礎的な勉強会を実施する。

(基礎編)

テーマ名	講師	概要	実施日	受講者数
陶磁器原料	武内 浩一 山口 英次	①陶土（坯土）の原料と製造方法 ②陶土の粒度と検査方法	令和4年 7月 14日	16名
			令和4年 7月 28日	15名
石膏型 成形技術	稲尾 恭敬 岩永 省吾	①石膏の種類と特徴 ②各種成形方法の特徴	令和4年 8月 10日	14名
			令和4年 8月 25日	16名
釉薬	吉田 英樹	①釉薬の種類と特徴 ②釉薬データベース	令和4年 9月 8日	13名
			令和4年 9月 22日	15名
焼成技術	河野 将明 山口 英次	①焼成炉の種類と特徴 ②焼成方法について	令和4年 10月 13日	13名
			令和4年 10月 27日	11名
品質管理技術	吉田 英樹 稲尾 恭敬	①欠点の種類と内容 ②欠点の分析方法と防止対策	令和4年 11月 10日	16名
			令和4年 11月 24日	11名